

平成22年度 当初予算の概要

平成22年度予算は、22年第1回町議会定例会で可決され、一般会計など6つの会計が執行されることになりました。本年度当初予算の概要をご紹介します。

一般会計は48億6,400万円で前年度比4億800万円(9.16%)増、特別会計総額では5億1,762万円で同比△6,977万円(11.9%)減となり、一般会計、特別会計の合計では53億8,162万円(前年度比3億3,823万円、6.71%増)となりました。

- 一般会計 税金などを主な収入とする町の基本的な事業予算
- 特別会計 下水道等の使用料など、特定の収入で行う事業予算

■一般会計・特別会計当初予算額

会計区分	本年度	前年度	伸び率%
一般会計	4,864,000	4,456,000	9.16
国民健康保険	219	255	▲ 14.12
簡易水道事業	41,800	41,800	0.00
公共下水道事業	141,300	182,700	▲ 22.66
国保町立診療所	322,200	344,000	▲ 6.34
宅地造成事業	12,100	18,631	▲ 35.05
特別会計(合計)	517,619	587,386	▲ 11.88
総合計	5,381,619	5,043,386	6.71

■一般会計における予算の特徴

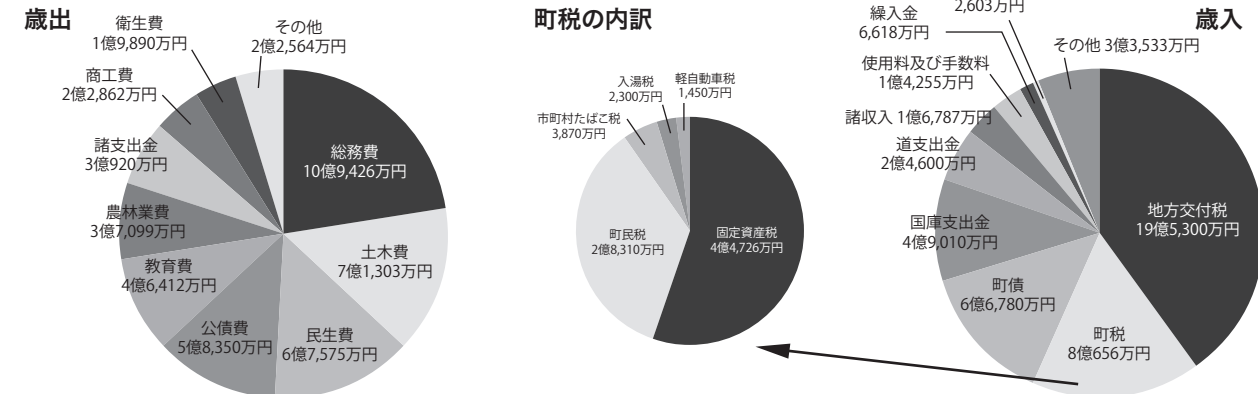
当初予算は48億6,400万円になりました。平成21年度の予算額と比べると4億800万円(9.16%)増になりました。本年度は「新まちづくり計画プライムタウン21-1」の3年度目にあたり、実施計画に沿った事業の展開を図ることになります。「東川町新行財政改革大綱(自主・自立集中改革プラン)」による事業計画、事業の見直し、効率化を進め、財源確保に努めました。

地方交付税は、地方財政計画では1.1兆円の増額があるなど、3.9%増になりました。本町における普通交付税の予算額は、21年度決定額と比べて1,189万円(0.7%)増を見込んでいます。

投資的事業では、対前年比で1億5,618万円(1.86%)減額になりました。国、道補助金やその他財源の確保、交付税補てんのある起債を充当するなど、特定財源の確保に努めました。

ソフト事業では、行政区等地域活動推進事業、「写真の町」ひがしかわ株主事業、少子高齢化、母子保健事業の充実、英語教育の充実を図ることに重点をおいた事業費を計上しています。

■一般会計当初予算の構成比



※正職員の人件費は総務費に計上しています。

■平成22年度の主な投資事業

- ・第三地区地域センター建設工事(農山漁村活性化支援プロジェクト交付金) 216,663千円
- ・合併処理浄化槽設置整備事業 7,400千円
- ・公営住宅清流東団地A2A3浴室等居住水準向上改善工事 31,000千円
- ・清流団地建設工事 63,200千円
- ・キトウシ森林公園内施設改修工事 6,626千円
- ・天人峡天津橋架替事業(国補助、起債事業) 117,813千円
- ・西10号道路改良事業(国補助、起債事業) 73,000千円
- ・道の駅駐車場増設事業(国補助、起債事業) 62,648千円
- ・まちづくり交付金事業(西10号南道路新設工事) 59,454千円
- ・電源立地交付金事業(第一地区コミセン外壁屋根塗装工事・中学校グラウンド整備事業) 10,120千円

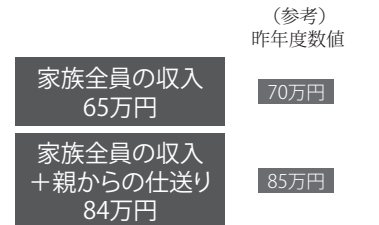
東川町の家計簿 東川町の財政を家計にたとえると...

22年度予算は48億6,400万円(一般会計)となりました。「合計額のケタが大きくて実感がわかない」「財政用語が分かりにくい」という声をよく耳にします。家庭の家計と町の財政では仕組みが異なりますが、分かりやすく説明するために町の予算額を家庭収入100万円に置き換えた家計簿で資料を作成しました。町の会計は、一般会計、特別会計に分かれています。ここでは22年度一般会計の当初予算を家計簿に置き換えて説明します。

収入

給料(町税・地方交付税)	57万円
パート収入(使用料・手数料など)	8万円
親からの仕送り(国からの補助金など)	19万円
借金(町債)	14万円
貯金の解約(繰入金)※1	1万円
財産(土地や家)の貸付など(財産収入)	1万円
合計	100万円

※1 貯金の残高は462万円あります(21年度末の貯金残高見込みを100万円に置き換えた数字)



支出

食費(人件費)	18万円
家族の医療費(乳幼児医療費などの扶助費)	6万円
光熱水費、被服費、その他雑費(消耗品費・燃料費・通信運搬費など)	33万円
車や家具の修理代(維持補修費)	1万円
子供たちへの仕送り(特別会計への繰出金、広域連合への負担)	10万円
借金の返済(住宅ローンなどの返済による町債費)※2	12万円
家の増改築(公営住宅建設、道路整備など)	17万円
貸付金等	1万円
貯金	2万円
合計	100万円

※2 借金の残額は1,106万円あります(21年度末の借金残高見込みを100万円に置き換えた数字)



収入の柱は給料の57万円とパートの8万円、それと親からの仕送り19万円です。支出は日々の生活費として68万円、住宅ローンの返済などに12万円、家の増改築費に17万円かかっています。

【資料】平成21年度末基金(貯金)と町債(借金)残高見込み

基金(貯金)

一般会計	(百万円)	(H20末)
財政調整基金	367	365
減債基金	206	206
公共施設整備基金	503	537
ふるさと創生事業基金	112	111
地域振興基金	95	95
地域福祉基金	341	346
写真の町文化基金	127	127
未来を拓くみんなの夢基金	200	200
総合体育館建設基金	16	16
「写真の町」ひがしかわ株主基金	9	0
小西健二奨学基金	30	-
小計	2,006	2,013
土地開発基金	164	164
備荒資金	78	78
一般会計合計	2,248	2,255
特別会計		
公共下水、診療所	1	9

町債(借金)

一般会計	(百万円)	(H20末)
建物(公営住宅除く、道路の整備などに借りたもの)		
平成21年度末残高見込み	2,448	2,252
うち国の交付税で補てんされる金額	▲ 802	▲ 627
差引残高(町が負担する額)	1,646	1,625
財源不足を補うために借りたもの(臨時財政対策債など)		
平成21年度末残高見込み	1,554	1,502
※全額が国の交付税で補てん		
公営住宅の建設のため借りたもの(入居者の負担を基本)		
平成21年度末残高見込み	1,380	1,462
特別会計		
簡易水道事業分	509	550
下水道事業分	968	968
診療所分	501	541
宅地造成事業分	17	17
うち国の交付税で補てんされる金額	▲ 871	▲ 946
差引残高(町と受益者の負担額)	1,124	1,130